

自己評価等結果報告書

令和 6 年 3 月 24 日

宮 崎 市 長 殿

届出者 所 在 地 宮崎市神宮東2丁目6-1

事業者名 株式会社アライヴ

代表者名 千葉 利広

印

1. 事業所の状況

事業所の名称	ふあいん神宮		
事業所の所在地	宮崎市神宮東2丁目6-1		
事業の種別	<input type="checkbox"/> 児童発達支援		<input checked="" type="checkbox"/> 放課後等デイサービス
事業所番号	4550100574		
連絡先	TEL	0985-71-2901	E-mail fine712901@gem.bbq.jp

2. 取組時期

① 保護者等による評価	令和 6 年 2 月 18 日 ~ 令和 6 年 3 月 8 日
② 職員による評価	令和 6 年 2 月 18 日 ~ 令和 6 年 3 月 8 日
③ 事業所全体による評価	令和 6 年 3 月 11 日 ~ 令和 6 年 3 月 15 日

3. 公表方法

公表日	令和 6 年 3 月 25 日
公表方法	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページ (URL: fine712901@gem.bbq.jp)
	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> その他 ()
公表内容 (届出書類)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所における自己評価結果 (公表用) <input checked="" type="checkbox"/> 保護者等からの事業所評価の集計結果 (公表用)

担当者名	長友 大輔
連絡先	0985-71-2901

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 7年3 月25 日

事業所名 ふあいん神宮

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7			利用定員に対し、複数の部屋を設けている	感染症等も考えながら配慮している
	2	職員の配置数は適切である	4	3			休みが重なると足りないと思うことがあるためシフト作成時にできるだけ重ならないように気を付ける必要がある
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		1	6	危険がないように都度声掛けし、階段へ行かないようにしている	建物の構造上階段があるが、手すりを設けている
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	3			Plan(計画)→Do(実行)→Check(評価)→Action(改善)のプロセスを再確認し、支援に繋げていく
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	1			ご意見があった際は真摯に受け止め、支援の改善に繋げていきたい
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	2			ホームページにて公開している
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	4		検討する	第三者による外部評価ができていないため今後検討していきたい
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7			研修の機会があれば積極的に参加していきたい	定期的に研修の機会を設けている
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	4			必要に応じてアセスメントツールを使用している
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	4		話し合いを定期的に行っている	児発管を中心に活動プログラムの計画を行っている
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7			話し合いを定期的に行っている	毎日違った活動を行い、年中行事なども取り入れている
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7				季節の行事を入れたり公共施設の利用、体験学習などを取り入れたりしている
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7			朝礼にて職員間での共有をしている	毎日朝礼で話し合いを行い、確認を行っている
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7			終礼にて職員間での共有をしている	毎日終礼で話し合いを行い、次に生かせるように支援の振り返りを行っている
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			必要に応じて連絡帳に記載したり保護者に直接伝えたりして対応している	毎日提供記録に支援の様子を記載している
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7			必要に応じて見直しを行っている	児発管、相談員を中心にサービス計画の見直しを行っている
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5	2		行えるように都度話し合いをしている	職員間で話し合いながら支援を行っている

関係機関 や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	2		参加するように心掛けている	児発管、または管理者が出席するようにしている
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7			学校との連絡をしっかりと取るようにしている	密に連絡を取るようにし、トラブルがないように心掛けている
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	4	2		現在該当者はいないが、医療ケアが必要な際はしっかりと連絡を取っていききたい
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		7			必要な情報源となるため情報共有に努めていききたい
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		7			現在該当者はいないが、スムーズな移行ができるように準備をしていききたい
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	3		今後も助言や研修を受け、支援の向上に繋げていきたい	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	2	4	積極的にイベント等に参加し、接する機会を設けていきたい	現在は接する機会がないため、今後は取り入れていきたい
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		4	3	今後検討したい	今後は積極的に参加できるように検討していきたい
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	1			帰りの送迎時に情報共有を行うようにしている
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	4	1		必要に応じて行っていきたい
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	2		契約時に説明するようにしている	管理者より行われている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7				必要に応じて、対応させていただいている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		1	6	感染症等の理由でできていないため、落ち着いたら、検討したい	時間を調整し、検討していきたい
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	2			適切に対応していきたい
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	2	1		活動予定表を毎月発行し、保護者にも確認していただいている
	35	個人情報に十分注意している	7			個人情報を施設外に持ち出さないように取り決めている	徹底している
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	1			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		2	5	感染症等の理由でできていないため、落ち着いたら、検討したい	現在行っていないため検討していきたい

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	2		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	1		地震、火災どちらにも対応できるように備えている
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	2		定期的に施設内研修を取り入れ、虐待に繋がる発言等を無くすように意識している
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	3		事前に話し合いを行い、スムーズに行動できるようにしている
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	2	1	医師の指示書も必要に応じて提出してもらうように検討していきたい
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	1		